

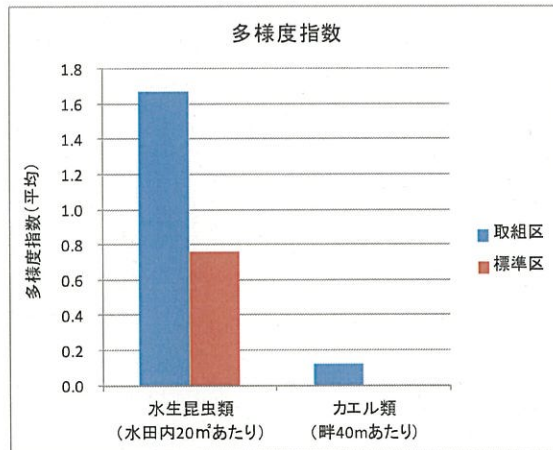
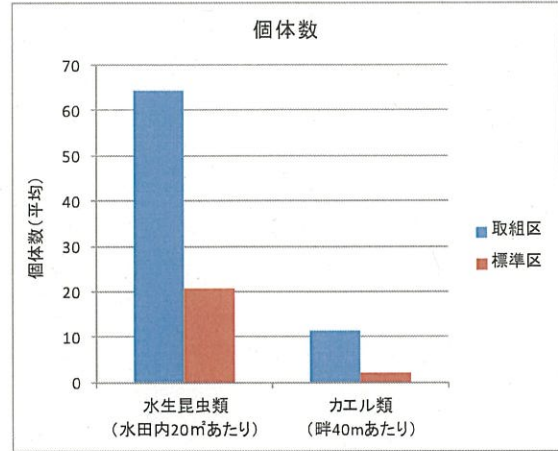
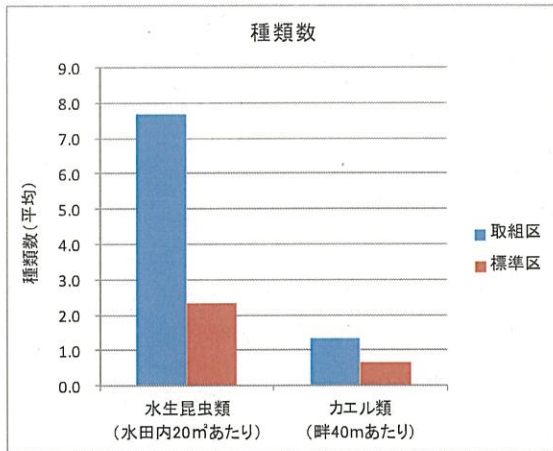
平成29年度生き物調査結果

有機農業

取組区と標準区の比較

調査地点数: 6地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	7.7	2.3	64.3	20.8	1.67	0.76
カエル類(畔40mあたり)	1.3	0.7	11.5	2.0	0.12	0

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



有機農業の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類、カエル類の種類数・個体数ともに取組区の方が多くなる傾向が認められた。

多様度指数についても、水生昆虫類、カエル類ともに、取組区の方が高くなる結果となった。



取組区の水田 (永平寺町)



多く確認されたカエル類 (アマガエル)

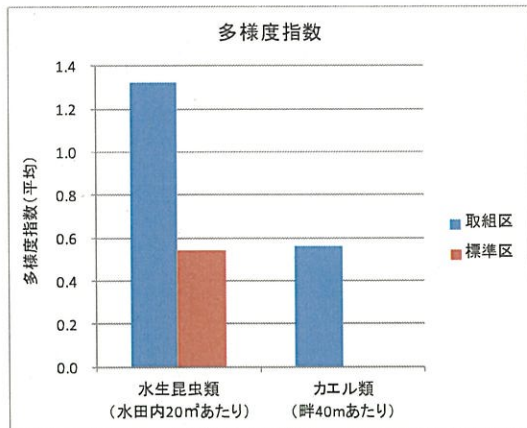
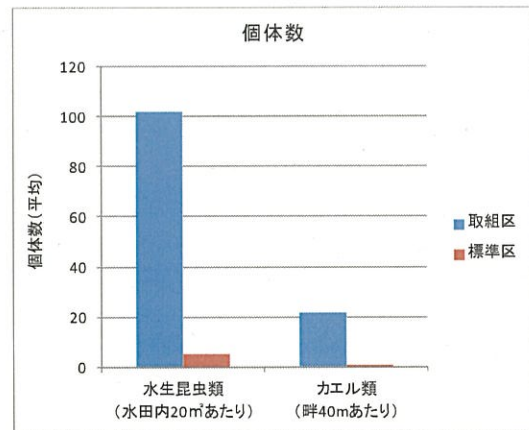
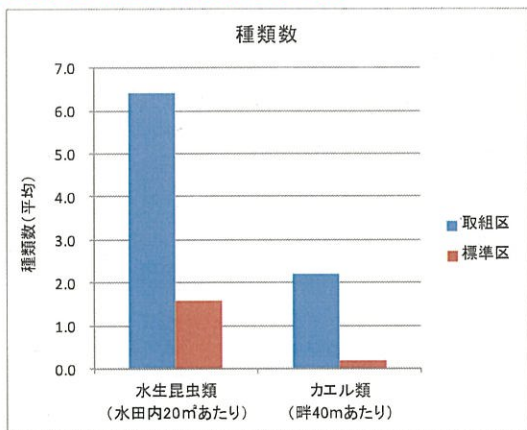
総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い

除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上

取組区と標準区の比較

調査地点数: 5地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	6.4	1.6	102	5.0	1.32	0.54
カエル類(畔40mあたり)	2.2	0.2	21.4	0.2	0.56	0

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類、カエル類の種類数・個体数ともに、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。

また、多様度指数についても水生昆虫類、カエル類ともに取組区のほうが高い結果となった。



取組区の水田（池田町）



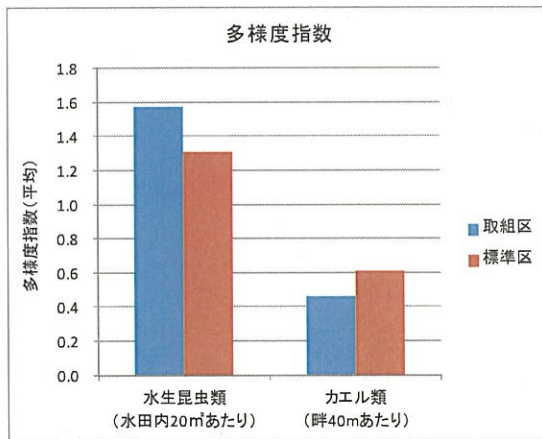
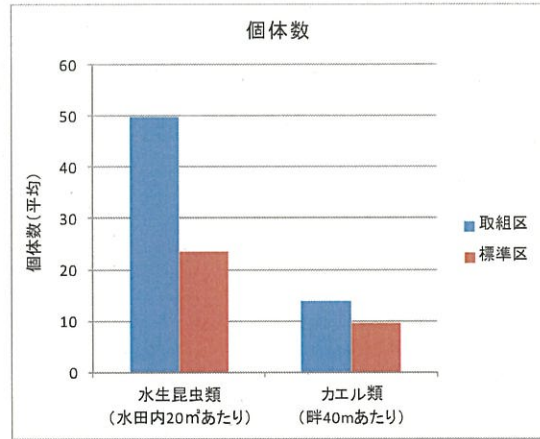
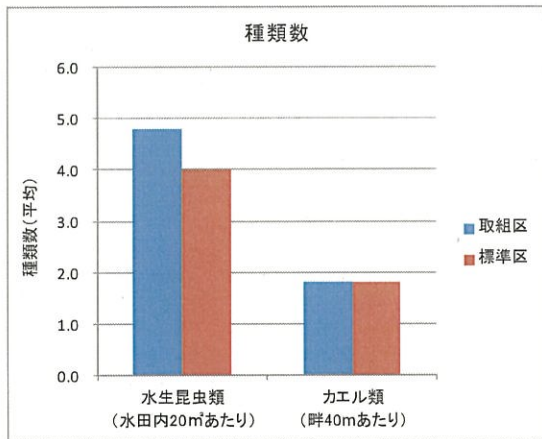
多く確認された水生昆虫類（コミズムシ）

中干延期

取組区と標準区の比較

調査地点数: 5地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	4.8	4.0	49.6	23.4	1.57	1.31
カエル類(畔40mあたり)	1.8	1.8	13.8	9.6	0.46	0.61

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



中干延期の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数・個体数、カエル類の個体数について取組区の方が多くなる傾向が認められた。

多様度指数について、水生昆虫類については、取組区の方が高い結果となった。



取組区の水田 (越前市)



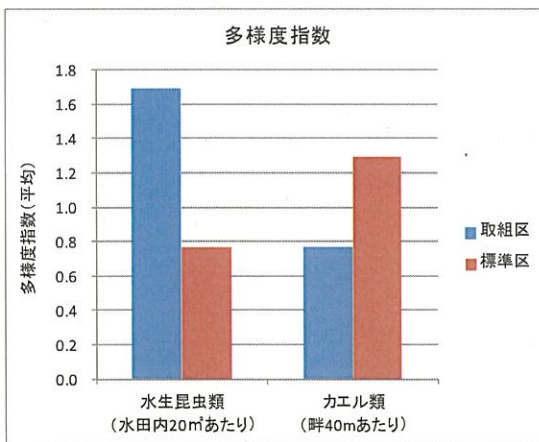
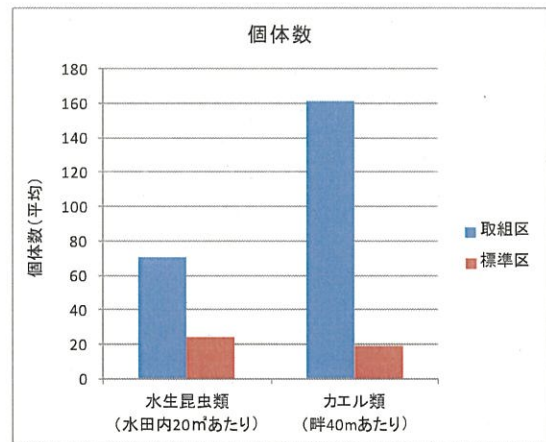
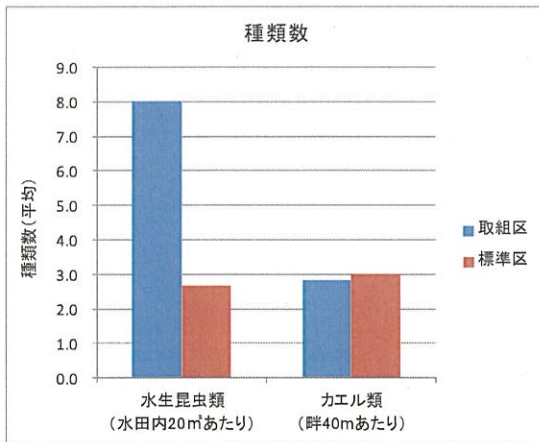
取組区の水田で確認されたガムシ

冬期湛水

取組区と標準区の比較

調査地点数: 6地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	8.0	2.7	70.5	24.3	1.69	0.77
カエル類(畔40mあたり)	2.8	3.0	161	19.0	0.76	1.29

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



冬期湛水の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数・個体数、カエル類の個体数について取組区のほうが多くなる傾向が認められた。

また、多様度指数は水生昆虫類については取組区のほうが高い結果となった。



取組区の水田 (越前町)



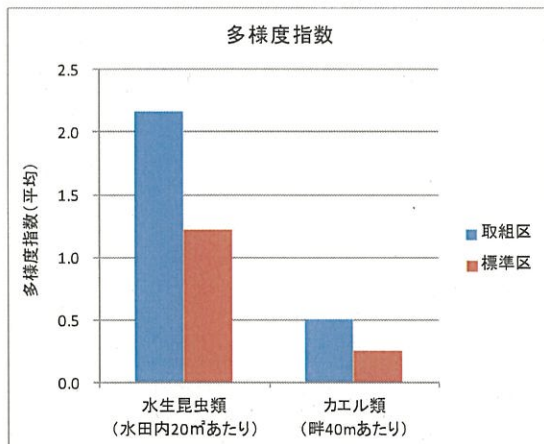
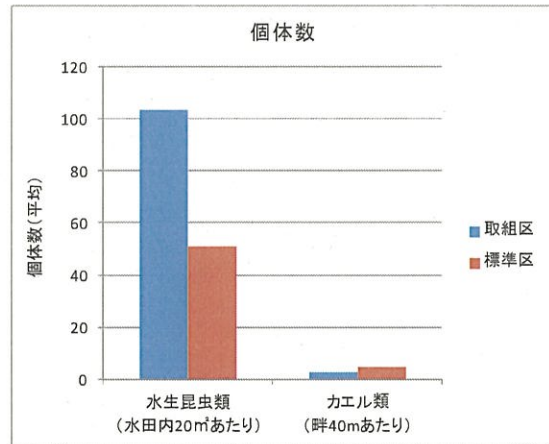
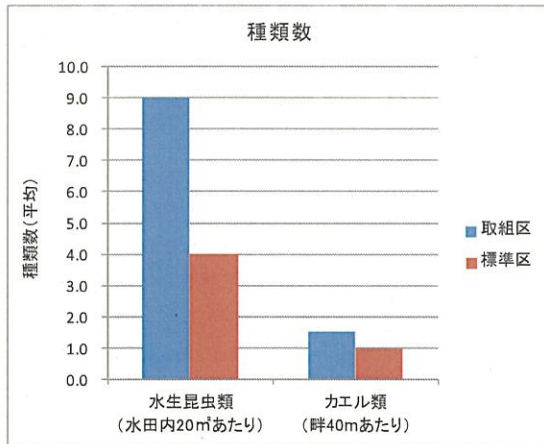
取組区の水田で確認されたツチガエル

総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた畦畔除草及び秋耕の実施

取組区と標準区の比較

調査地点数: 2地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	9.0	4.0	104	51.0	2.16	1.22
カエル類(畔40mあたり)	1.5	1.0	2.5	4.5	0.50	0.25

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた畦畔除草及び秋耕の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数・個体数、カエル類の種類数について取組区のほうが多くなる傾向が認められた。

また、多様度指数は水生昆虫類、カエル類ともに取組区のほうが高い結果となった。



取組区の水田（美浜町）



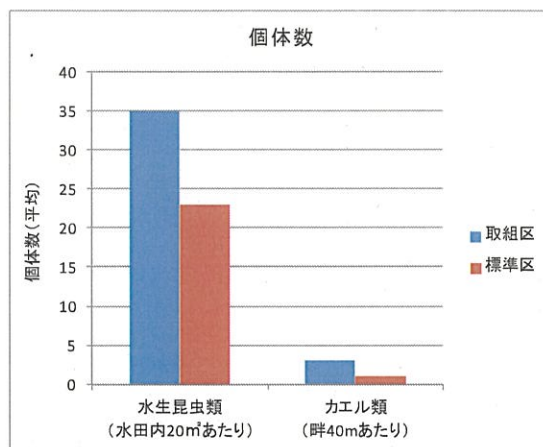
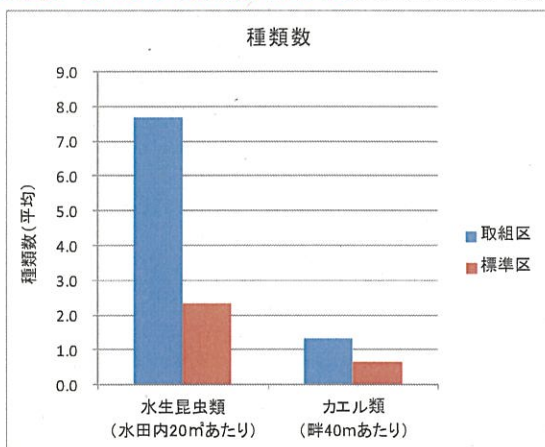
取組区の水田で確認されたコシマゲンゴロウ

生き物緩衝地帯の設置

取組区と生き物緩衝地帯（水路）と標準区との比較

調査地点数:1地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	7	5	35	23	2.12	1.59
カエル類(畔40mあたり)	2	1	3	1	0.92	0

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



生き物緩衝地帯の取組区分において、水生昆虫類、カエル類は、種類数・個体数ともに取組区で多く確認された。

多様度指数についても、水生昆虫類、カエル類ともに取組区で高い結果となった。

取組区には、右の写真のような水路が設置されているので、濁水時に生き物の避難場所になると考えられる。



生き物緩衝地帯の水路と水田（鯖江市）



水路で確認されたトノサマガエル



水路で確認されたメダカ